



CateProtect

カテプロテクト

天然カテキンをはるかに凌ぐ抗ウイルス活性。
ウイルスを破壊する、やさしい新テクノロジー。
膜親和性EGCG『CateProtect』誕生。

私たち株式会社プロテクトアは、大阪大学で研究・開発された新規カテキン誘導体の実用化に成功。それが膜親和性EGCG『CateProtect(カテプロテクト)』です。

インフルエンザウイルスも不活性化させる優れた抗ウイルス機能

膜親和性EGCG『CateProtect』は、お茶に含まれる天然カテキンの中で、最も抗ウイルス機能が高いEGCG(エピガロカテキンガレート)を、独自の技術で膜親和性にして、抗ウイルス機能をさらに強化した高機能成分です。インフルエンザウイルスを10分で99.9%以上不活化します。季節性ウイルス以外に、新型、トリ感染型、タミフル耐性型ウイルスなどにも同等に有効であることが確認されています。未知のパンデミックへの対応も期待できます。

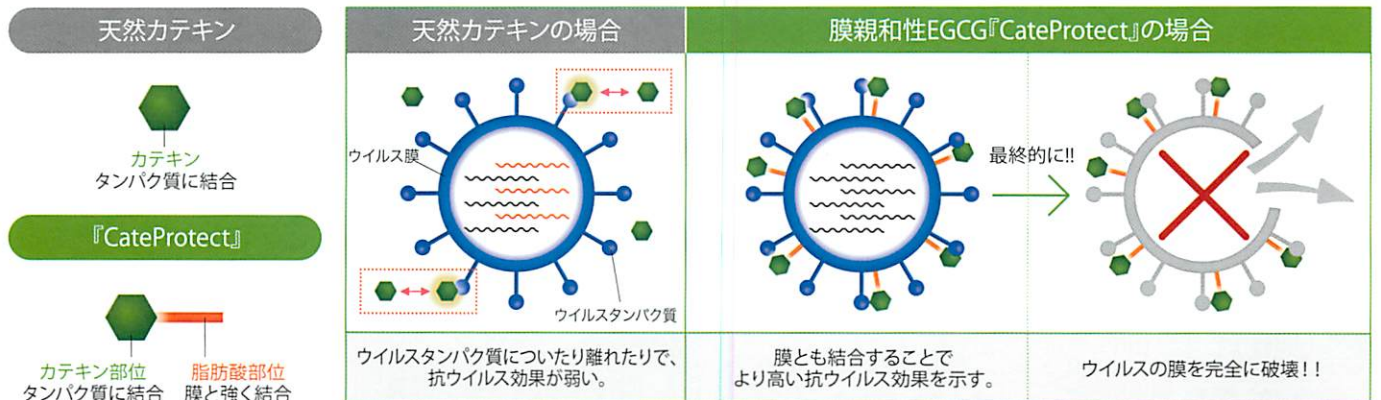
▼『CateProtect』がインフルエンザウイルスを不活性化の様子

写真：大阪大学産業科学研究所提供



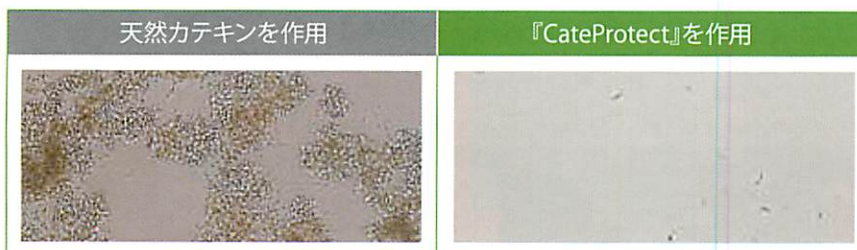
『CateProtect』は天然カテキンよりもウイルス膜親和性が高いため、ウイルスの膜タンパク質を効果的に変性させて感染を阻害する。

「抗インフルエンザウイルス活性に関する論文発表」
Kaihatsu, et al. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, (2008)
Kaihatsu, et al. *J. Mol. Genet. Med.*, (2009)



黄色ブドウ球菌をはじめ、幅広い菌に抗菌機能を発揮

『CateProtect』は、薬剤耐性を含む、黄色ブドウ球菌に対する殺菌性、さらに肺炎桿菌、肺炎レンサ球菌、大腸菌などに対しても静菌活性が確認されています。



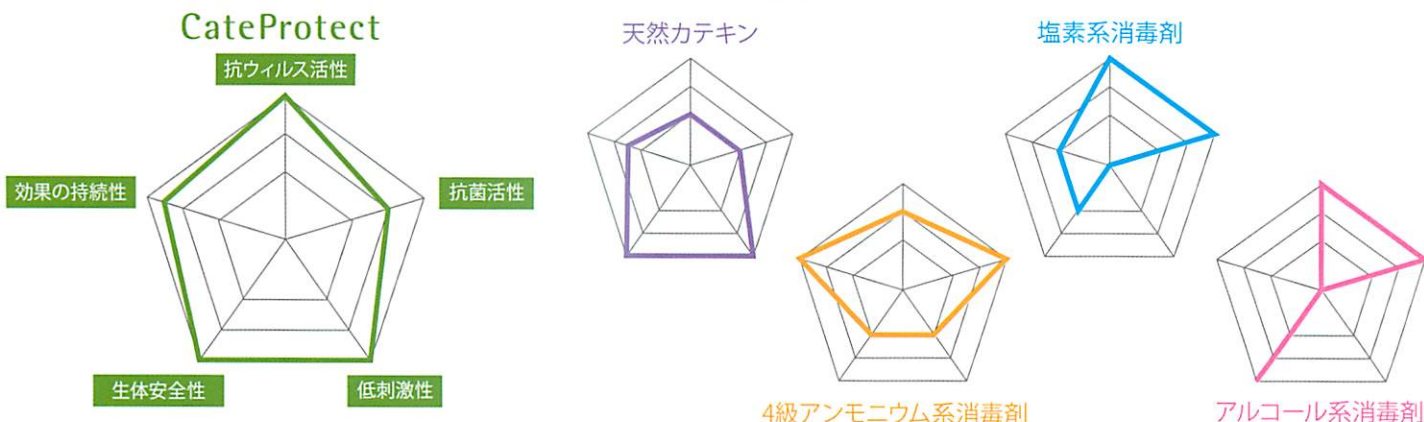
天然カテキンではブドウ球菌の増殖を止められないが、『CateProtect』は高い抗菌性があるため、増殖を止めてブドウ球菌が激減した。

Kaihatsu, et al. *Front Microbiol.* (2012)

～本資料は、弊社商材の活用を検討して頂く法人様向けの資料です。～

他の抗ウイルス・抗菌剤との比較

『CateProtect』は、天然カテキン由来の高い安全性をベースに、優れた抗菌性と抗ウイルス性を兼ね備えた、新しい消毒成分です。



幅広い分野の製品への展開が可能。

膜親和性EGCGの『CateProtect』は、人にやさしく、ウイルスや菌に強い特性を活かし、今後さまざまな製品への搭載が期待されています。製品に付けられる『CateProtect』のマークは、優れた抗ウイルス・抗菌性を体現したのものとして、製品自体の信頼性・訴求性を高めることを意図しています。 ※『CateProtect』は、株式会社プロテクトアの登録商標です。



開発秘話

技術責任者 開発 邦宏

『CateProtect』の有効成分であるカテキン誘導体は、英国での研究留学中に生まれました。当時、私は研究の合間に紅茶や緑茶を飲み、新しいアイデアを考えたり、日本の妻子に想いを馳せたりしていました。ある日、香りを楽しむために、窓際で飲み終えた茶葉を乾燥させていたのですが、紅茶にはカビが生え、緑茶には生えていないのに気がきました。そこで、緑茶カテキンの抗ウイルス効果に着目し、どのようにしたらより強い効果を得られるのか、多くのご協力を得ながら試行錯誤を繰り返し、新規カテキン誘導体の合成に成功しました。その技術を実用化したのが、膜親和性EGCG『CateProtect』です。大阪大学に着任後、NEDOやJSTの公的な研究プロジェクトを立ち上げて従事し、その効果・効能、適応範囲、作用機構などを確認しました。皆様にご自信を持って進められる、安心・安全、かつ優れた感染症対策部材です。

ご挨拶

代表取締役社長 内田 国克

弊社は、開発博士の研究成果であるカテキン誘導体を実用化するために起業した、大阪大学発のベンチャー企業です。昨今、各地の大学で産学連携の研究プロジェクトが進められていますが、なかなか実用化に至らないことが多いかと思います。こうした実状を考えると、いくら優れた研究成果でも、経営資源(人・物・金・情報)はもちろんのこと、市場ニーズに対応していく応用力が必要であり、何より実用化の前に立ちはだかる幾つもの壁を乗り越えていく情熱や使命感が欠かせないと考えております。私たちは、カテキン誘導体を実用化して、その優れた抗ウイルス効果を幅広い製品に応用していただきたいという考えから、膜親和性EGCG『CateProtect』という技術として提供することにいたしました。皆様と協力しながら、1つでも多くの製品を実現し、1人でも多くの方をウイルス感染等から守ることにつながればと願っております。

■本プロジェクトは、中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律(新事業活動促進法)に基づく経営革新計画承認事業です。

PROTECTEA, LTD. 株式会社プロテクトア

- 設立 2010年6月21日
- 所在地 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-7-15 彩都バイオインキュベータ 201
- 事業内容 感染症対策部材の研究開発、製造、販売(カテキン誘導体を利用した各種製品の研究開発、製造、販売)化合物、技術シーズに関する受託合成、分析、評価
- Webサイト <http://www.protectea.co.jp> ●Mail info@protectea.co.jp
- 電話 Tel: 072-657-7816 【受付時間】10:00~17:00(土・日・祝を除く)

お問合せ先